

【表紙】

【提出書類】	有価証券報告書の訂正報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の2第1項
【提出先】	北海道財務局長
【提出日】	2020年11月16日
【事業年度】	第57期（自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）
【会社名】	和弘食品株式会社
【英訳名】	Wakou Shokuhin Co., Ltd.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 和山 明弘
【本店の所在の場所】	北海道小樽市銭函3丁目504番地1
【電話番号】	小樽 0134(62)0505
【事務連絡者氏名】	経理部長 藤井 一真
【最寄りの連絡場所】	北海道小樽市銭函3丁目504番地1
【電話番号】	小樽 0134(62)0505
【事務連絡者氏名】	経理部長 藤井 一真
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

1【有価証券報告書の訂正報告書の提出理由】

2020年6月30日に提出いたしました第57期（自 2019年4月1日 至 2020年3月31日）有価証券報告書の記載事項の一部に誤りがありましたので、これを訂正するため有価証券報告書の訂正報告書を提出するものであります。

2【訂正事項】

第一部 企業情報

第1 企業の概況

1 主要な経営指標等の推移

(1) 連結経営指標等

第2 事業の状況

3 経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析

(1) 経営成績等の状況の概要

(2) 経営者の視点による経営成績等の状況に関する分析・検討内容

第3 設備の状況

1 設備投資等の概要

第5 経理の状況

1 連結財務諸表等

(1) 連結財務諸表

連結キャッシュ・フロー計算書

3【訂正箇所】

訂正箇所は_____を付して表示しております。

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

(1) 連結経営指標等

(訂正前)

回次	第53期	第54期	第55期	第56期	第57期
決算年月	2016年3月	2017年3月	2018年3月	2019年3月	2020年3月

<省略>

営業活動によるキャッシュ・フロー	(千円)	173,622	190,328	362,925	569,677	<u>53,587</u>
投資活動によるキャッシュ・フロー	(千円)	378,285	265,262	424,266	558,413	<u>791,587</u>

<省略>

(訂正後)

回次	第53期	第54期	第55期	第56期	第57期
決算年月	2016年3月	2017年3月	2018年3月	2019年3月	2020年3月

<省略>

営業活動によるキャッシュ・フロー	(千円)	173,622	190,328	362,925	569,677	<u>250,122</u>
投資活動によるキャッシュ・フロー	(千円)	378,285	265,262	424,266	558,413	<u>1,095,296</u>

<省略>

第2【事業の状況】

3【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 経営成績等の状況の概要

(訂正前)

キャッシュ・フローの状況

<省略>

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度の営業活動によるキャッシュ・フローは、前年同期に比べて623百万円支出が増加し53百万円の支出となりました。

これは主として減価償却費462百万円及び減損損失451百万円の計上、売上債権の減少62百万円等による資金の増加が、税金等調整前当期純損失208百万円の計上、法人税等の支払額100百万円、棚卸資産の増加118百万円、仕入債務の減少261百万円、未払金の減少346百万円等による資金の減少を下回ったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度の投資活動によるキャッシュ・フローは、前年同期に比べて233百万円多い791百万円の支出となりました。

これは主として有形固定資産の取得による支出737百万円等によるものであります。

<省略>

(訂正後)

キャッシュ・フローの状況

<省略>

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度の営業活動によるキャッシュ・フローは、前年同期に比べて319百万円支出が増加し250百万円の収入となりました。

これは主として減価償却費462百万円及び減損損失451百万円の計上、売上債権の減少62百万円等による資金の増加が、税金等調整前当期純損失208百万円の計上、法人税等の支払額100百万円、棚卸資産の増加118百万円、仕入債務の減少261百万円、未払金の減少50百万円等による資金の減少を下回ったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度の投資活動によるキャッシュ・フローは、前年同期に比べて536百万円多い1,095百万円の支出となりました。

これは主として有形固定資産の取得による支出1,047百万円等によるものであります。

<省略>

(2) 経営者の視点による経営成績等の状況に関する分析・検討内容

(訂正前)

キャッシュ・フローの状況の分析・検討内容並びに資本の財源及び資金の流動性に係る情報
<省略>

	2016年3月期	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期
<省略>					
キャッシュ・フロー対 有利子負債比率(年)	6.5	8.4	5.5	3.7	57.6
インタレスト・ カバレッジ・レシオ(倍)	35.5	52.0	116.2	146.5	9.2

(訂正後)

キャッシュ・フローの状況の分析・検討内容並びに資本の財源及び資金の流動性に係る情報
<省略>

	2016年3月期	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期
<省略>					
キャッシュ・フロー対 有利子負債比率(年)	6.5	8.4	5.5	3.7	12.3
インタレスト・ カバレッジ・レシオ(倍)	35.5	52.0	116.2	146.5	42.9

第3【設備の状況】

1【設備投資等の概要】

(訂正前)

当連結会計年度における設備投資は、793,096千円であります。
主なものは、WAKOU USA INC. の436,528千円、北海道工場の136,552千円、関東工場の186,143千円であります。

(訂正後)

当連結会計年度における設備投資は、1,089,222千円であります。
主なものは、WAKOU USA INC. の436,528千円、北海道工場の432,350千円、関東工場の186,143千円であります。

第5【経理の状況】

1【連結財務諸表等】

(1)【連結財務諸表】

【連結キャッシュ・フロー計算書】

(訂正前)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
<省略>		
未払金の増減額(は減少)	20,452	346,744
<省略>		
その他	25,805	3,926
小計	630,929	49,874
<省略>		
営業活動によるキャッシュ・フロー	569,677	53,587
投資活動によるキャッシュ・フロー		
<省略>		
有形固定資産の取得による支出	427,012	737,402
<省略>		
無形固定資産の取得による支出	145,059	55,693
<省略>		
投資その他の資産の増減額(は増加)	29,100	4,115
<省略>		
投資活動によるキャッシュ・フロー	558,413	791,587
<省略>		

(訂正後)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
<省略>		
未払金の増減額(は減少)	20,452	50,617
<省略>		
その他	25,805	3,656
小計	630,929	353,584
<省略>		
営業活動によるキャッシュ・フロー	569,677	250,122
投資活動によるキャッシュ・フロー		
<省略>		
有形固定資産の取得による支出	427,012	1,047,664
<省略>		
無形固定資産の取得による支出	145,059	41,558
<省略>		
投資その他の資産の増減額(は増加)	29,100	11,698
<省略>		
投資活動によるキャッシュ・フロー	558,413	1,095,296
<省略>		